

本編

平成 21-23 年度

(独) 科学技術振興機構協定事業 未来の科学者養成講座

東北大学「科学者の卵養成講座」 最終報告書





事業背景 / 実施体制

03

未来の科学者養成講座の事業概要

「科学者の卵養成講座」とは？

04

「未来の科学者」を育てた講座活動①

「科学を見る眼」基礎コース

06

「未来の科学者」を育てた講座活動① ー高い成果を挙げた受講生の特性・背景・要因についてー

topic 01 『基礎』があってこそその高い成果！

08

「未来の科学者」を育てた講座活動②

「科学を見る眼」発展コース・エクステンドコース

12

「未来の科学者」を育てた講座活動② ー高い成果を挙げた受講生の特性・背景・要因についてー

topic 02 研究成果が論文になった！

14

受講生の活動成果

「科学者」としての自分の将来像をつかむ

18

今後の活動予定

20

東北大学 片平キャンパス さくらホール

科学に興味がある高校生を、東北大学が支援します。

- 当プログラムは、東北大学の理系研究科が参画しています。
- 「日常の不思議」を発見する力と、その不思議を解析する力を養います。
- 内容をまとめて、プレゼンテーション出来る能力を育てます。
- 科学英語を読み解く力を養います。
- 科学に対する興味の上昇・高揚を図ります。

21世紀は、「環境・エネルギー」そして「食糧・人口爆発」が世界規模で問題となっているが、この複合的課題を解決するには、様々なアプローチから「鍵となる問題」を発見し、これを領域横断的に解決できる科学者が求められている。つまり、広い視野と専門性を備えた「科学の眼」を持ち、周辺領域との融合など柔軟に領域横断的な考え方ができる人材を育成することが火急の要となっている。

現在の若い世代は、インターネットの普及により、多くの情報を得ることは容易となったが、反面、実際に自分で様々な体験をすることは少ない。生活の中にも、「科学的な不思議」がたくさんあるが、そのことが、理数科教育で学んだことと連動されていない。このように、高校教育までの学習と、実生活・実社会での様々な課題とを結びつけ、応用する科学的視点に乏しい。

そこで本事業では、東北大学における最先端科学に関する講義と実習を実施し、実体験、経験をすることの重要性を認識させ、問題発見、解決できる「科学の眼」をもった、国際性のある研究者の卵の養成を目的として実施した。

この目的遂行ため、東北大学の生命科学・理学・工学・農学の各研究科と高等教育開発センターの4研究科・1センターを中心とし、協力部局もあわせた理系研究科全体が本事業をサポートし本事業を推進した。そのコアとして、アウトリーチ歴の高いメンバーによる東北大学「科学者の卵養成講座」実行委員会が運営に当たり実施された。

実施体制▼

